

企業におけるスマホ・タブレット利用動向 とBYODの実態

2012年11月22日

モバイルソリューションを推進する



モバイルコンピューティング推進コンソーシアム スマートモバイル活用委員会 市場調査SWG

MCPCの概要

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

1997年 移動体通信会社、ハードメーカ、ソフトメーカ、システム インテグレータによる市場形成と拡大を目的に設立

■ 幹事会員:13社





















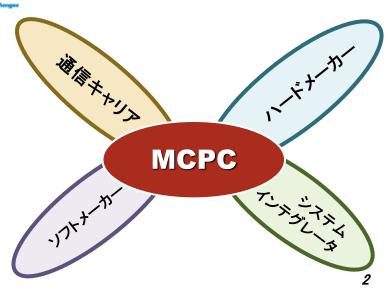






- 正会員:59社
- ベンチャースクウェア会員:17社
- 相互協力会員:17団体
- 賛助会員:67社

合計173社 (2012. 11. 1時点)



活動開始時期

- 2012年4月~
- 2012年3月に「スマートフォン推進委員会」と「モバイル活用委員会」を統合

活動目的

中小企業におけるスマートデバイスの活用推進

ユーザへの情報発信 ユーザの声の収集



活動内容

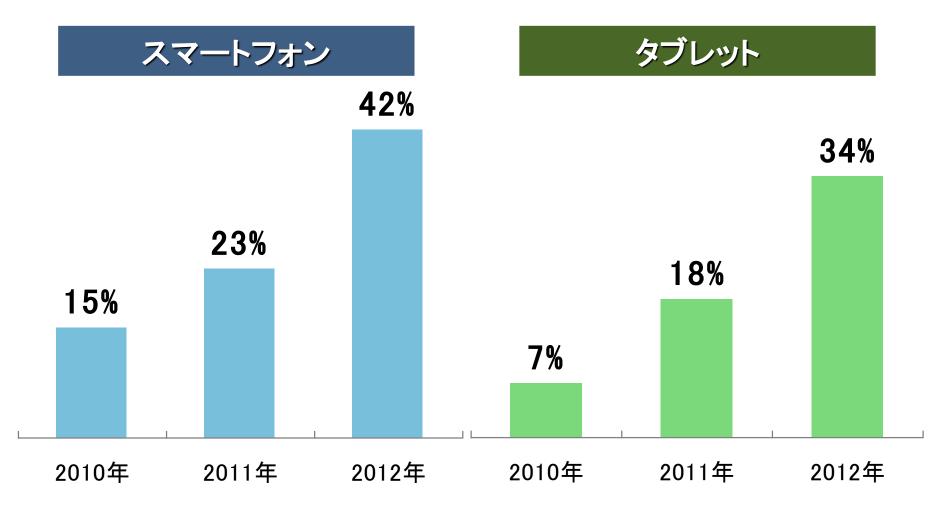
- 各種セミナーの開催・講師派遣
- ワイヤレスジャパン セミナー/展示
- スマートデバイスに関する市場調査
- スマートデバイス活用事例集の作成

MCPCとインプレスR&D共同調査

調査方法	●Webアンケート調査
調査時期	●2012年9月18~24日
対象者	●企業のモバイル機器の導入決裁権者または 決裁関与者 (従業員規模に応じて割付)
回収数	● 1, 795サンプル
標本抽出方法	●Webアンケート調査会社のモニター登録会員 を対象に予備調査を実施し、その回答結果から対象者を無作為抽出
実施体制	● MCPCとインプレスR&D共同実施

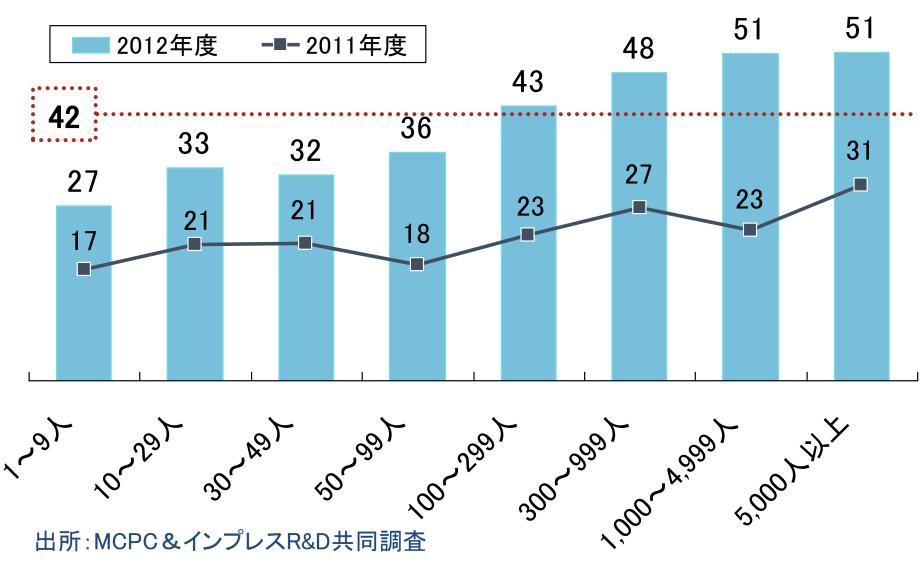


スマホ・タブレットともに2倍の伸び



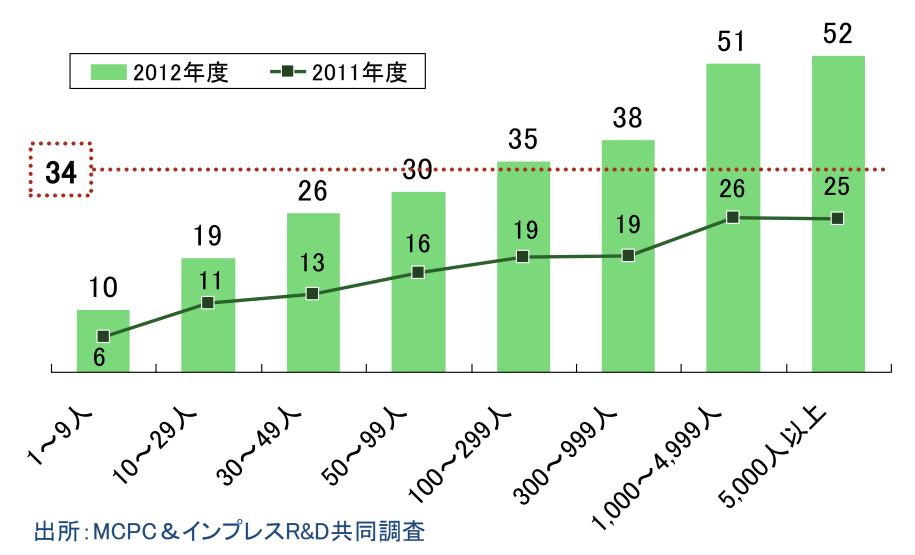
規模別スマホ導入状況

中小企業も大きな伸び

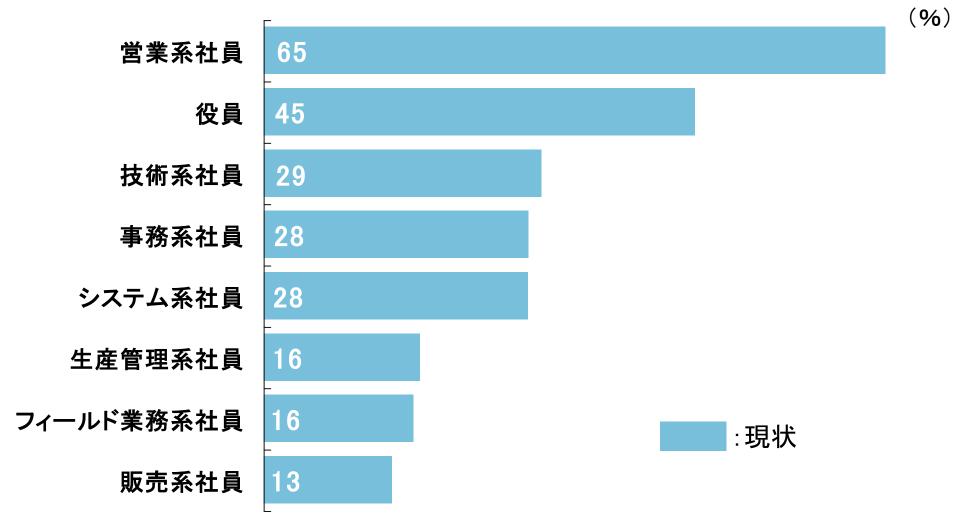


規模別タブレット導入状況

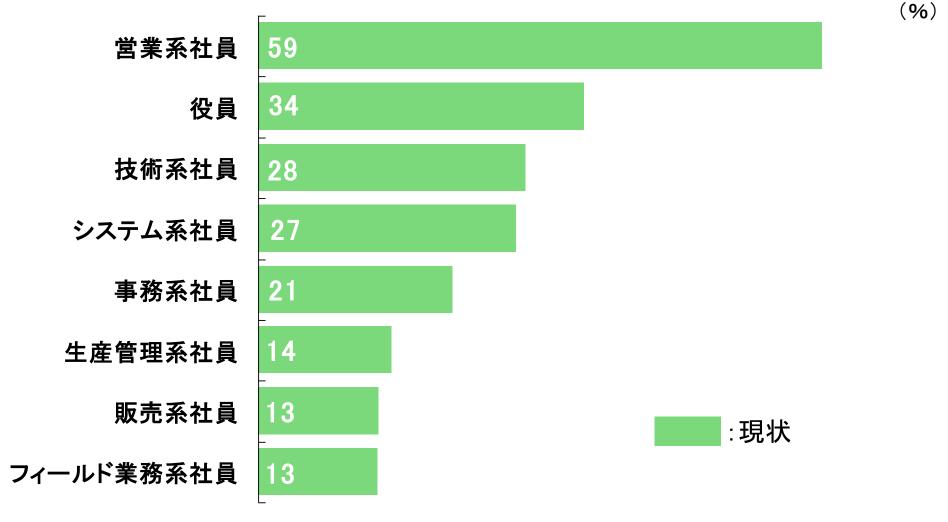
大企業ほど導入率・伸びは大きい



「営業系社員」以外への展開の可能性

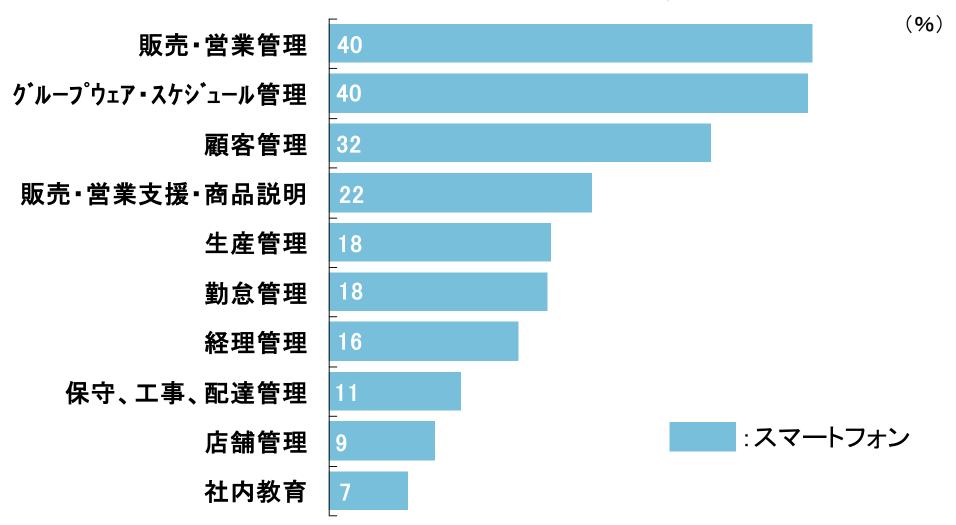


スマホ以上に「営業系」以外への展開可能性が大



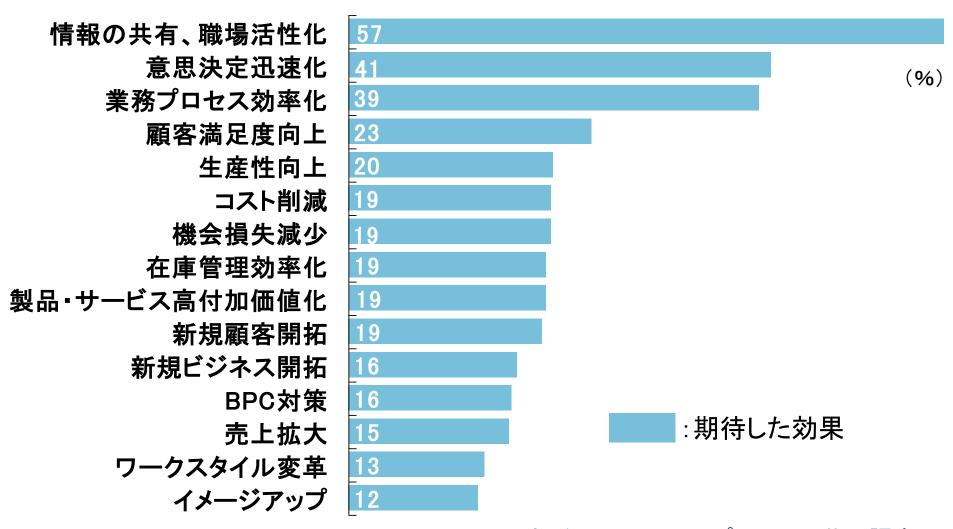
■活用業務内容

「販売・営業管理」「グループウェア類利用」で活用



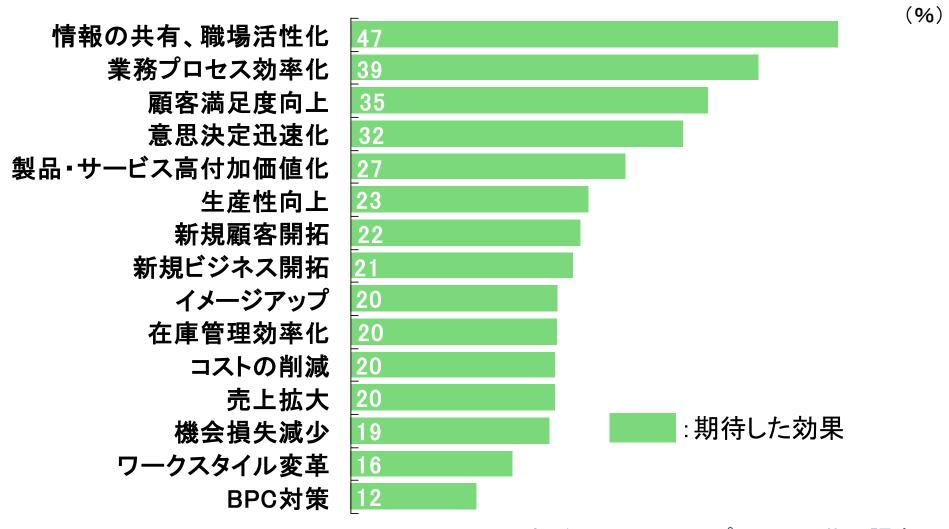
■ スマホへの期待と現実

「期待」と「現実」に大きなギャップ



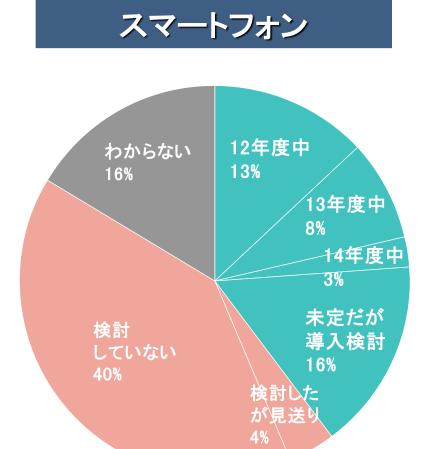
■ タブレットへの期待と現実

「新規顧客・ビジネス開拓」への期待が大きい

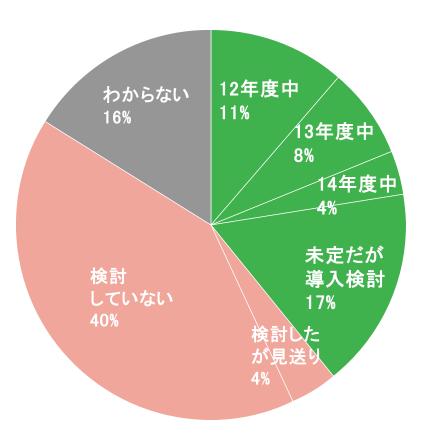


■ 今後の新規・追加導入意向

スマホ・タブレットともに40%の導入意向



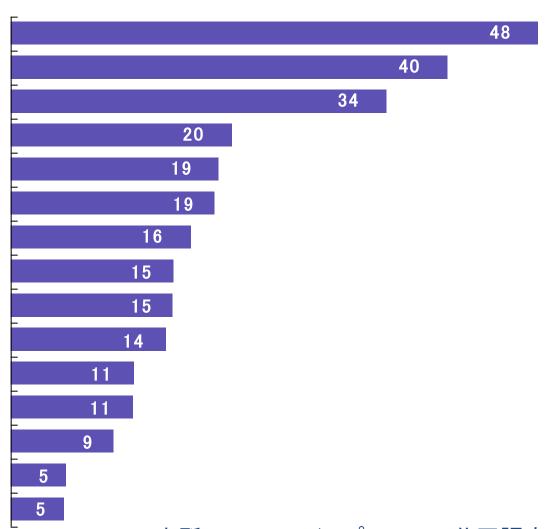
タブレット



未利用の理由

「業務への活用メリット」の訴求がカギ

業務には不要 料金に見合うほど活用できない 料金が高い 情報セキュリティで不安 情報漏えいが不安 私的利用を取り締まれない データ紛失が不安 業務に適した端末・機能がない ウィルス感染が不安 導入効果が良くわからない 社外業務がほとんどない 社外業務の効率化にならない システム構築に費用がかかる 情報を迅速に伝達する必要がない 他のモバイル機器を利用している



smart.ilphone



[Bring Your Own Device]

社員個人所有のモバイル端末を業務活用すること

メリット

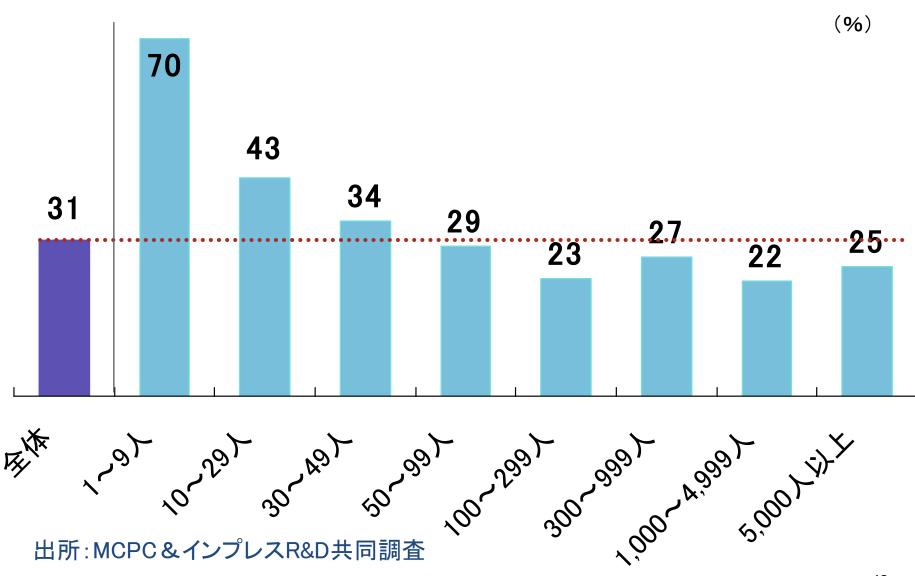
- ●コスト削減
 - ・ 端末費・通信費等の削減
- ●業務効率化
 - ・慣れた端末の利用
- ●BCP対応
 - 在宅勤務環境整備

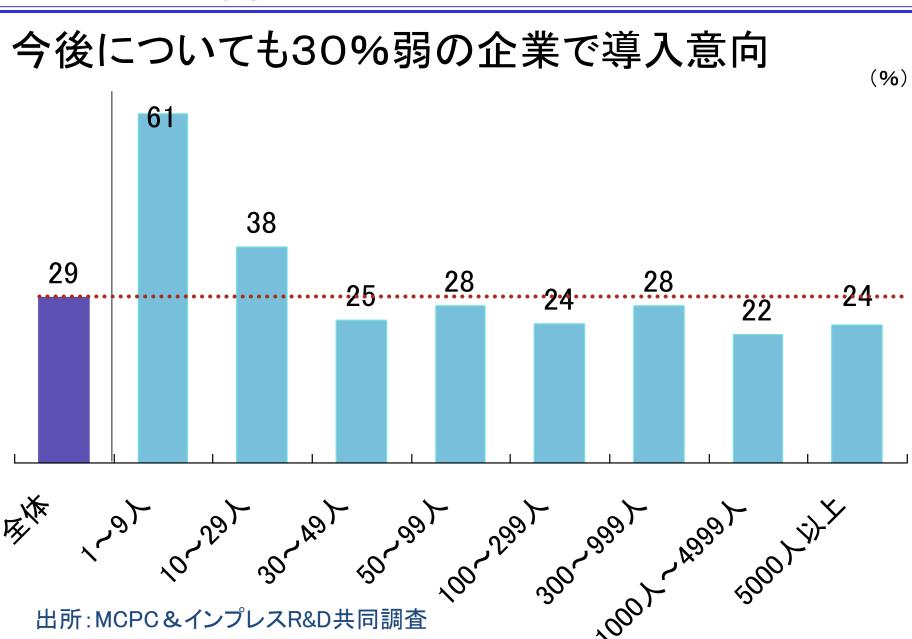
デメリット

- ●セキュリティ対策
 - •情報漏えい・ウィルス感染
- ●社員の個人情報取扱い
 - プライバシー侵害
- ●異なる端末・OS管理
 - •IT管理者の負荷向上

■ スマホ BYODの導入状況

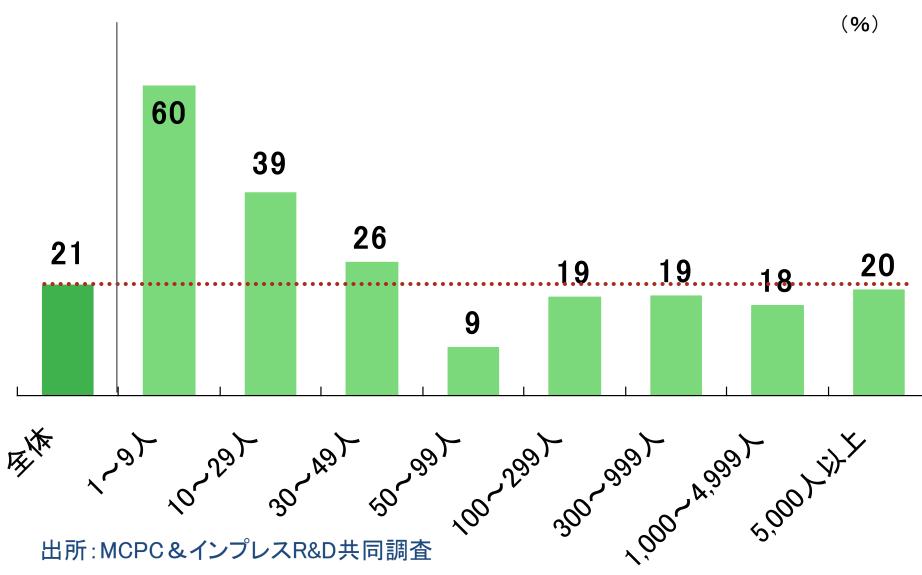
全体で30%強の企業でBYOD活用



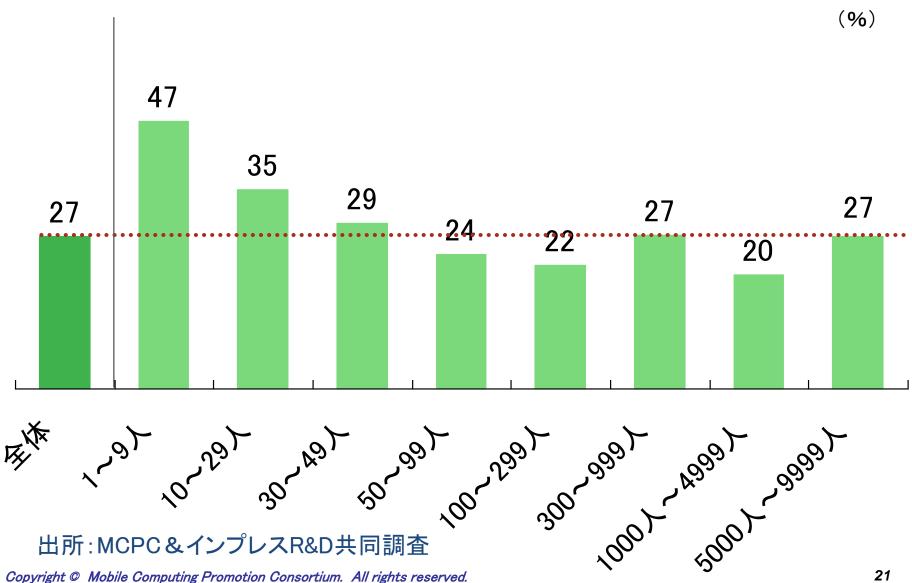


19

全体で20%強の企業でBYOD活用

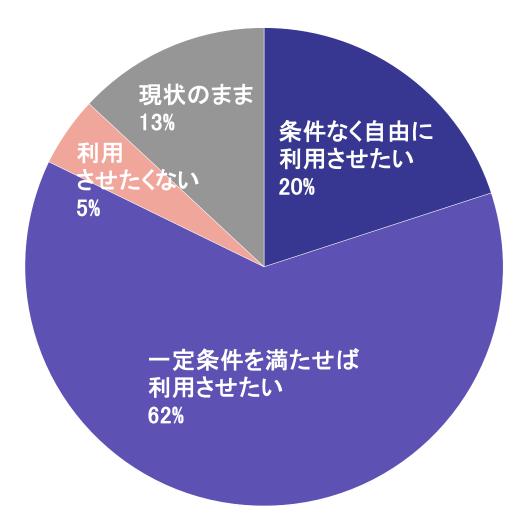


今後についても30%弱の企業で導入意向



現利用者における今後のBYOD意向

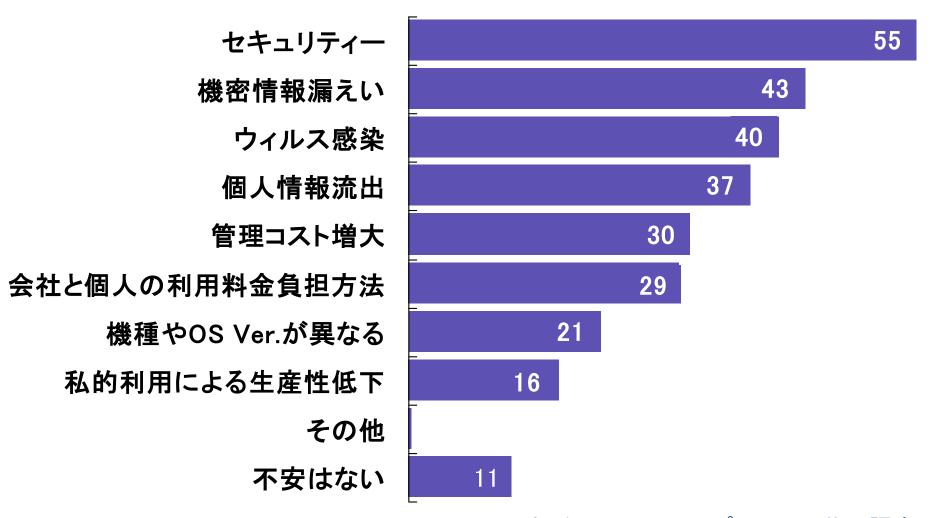
95%の企業で引き続きBYOD活用を志向



BYODに対する不安

「セキュリティ」「コスト」での不安が高い

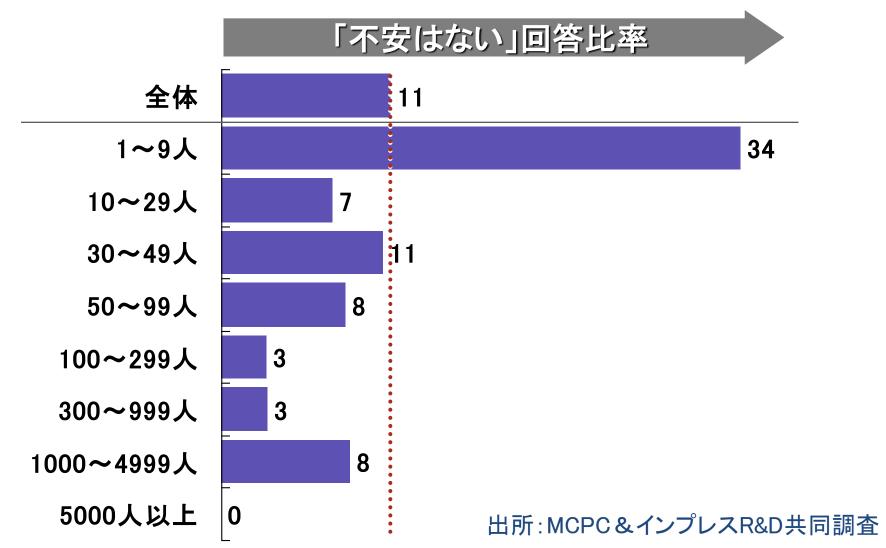




規模別「BYODに対する不安」

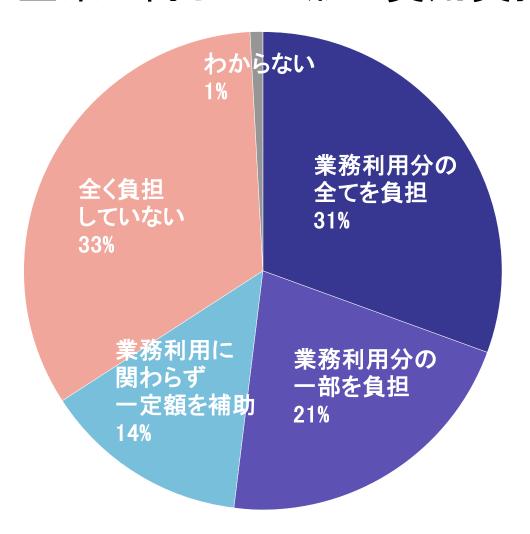
「中小企業」に対する啓蒙が必要

(%)

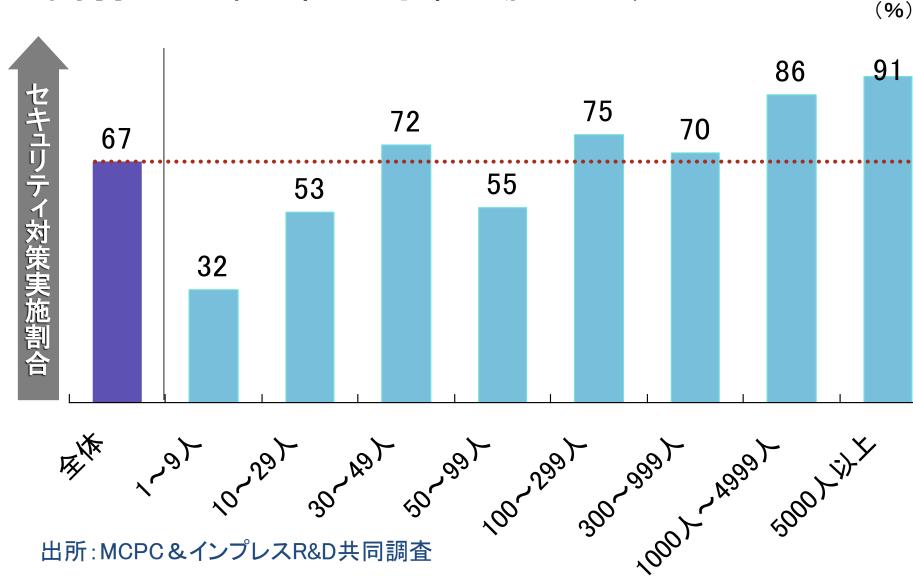


費用負担のあり方

3分の2の企業で何らかの形で費用負担

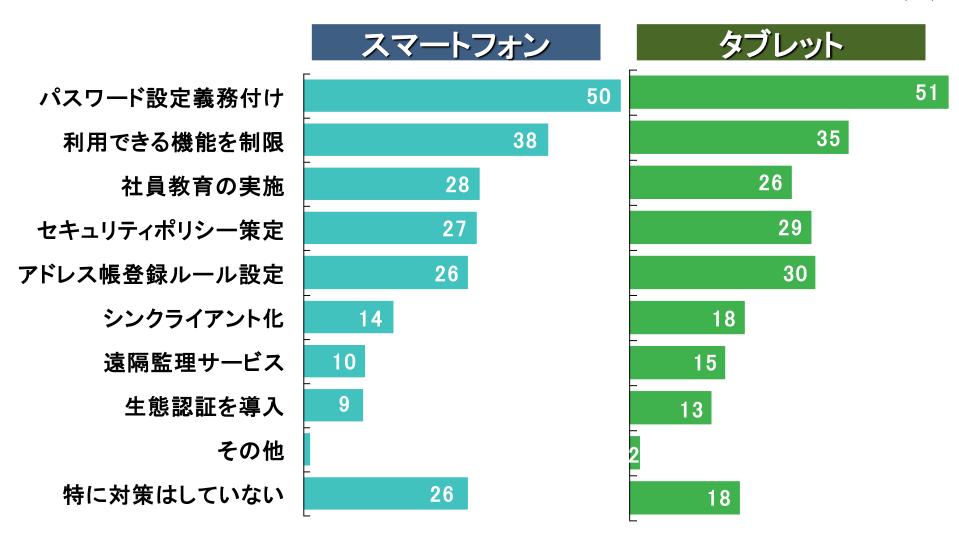


3割弱の企業で何も対策が施されず



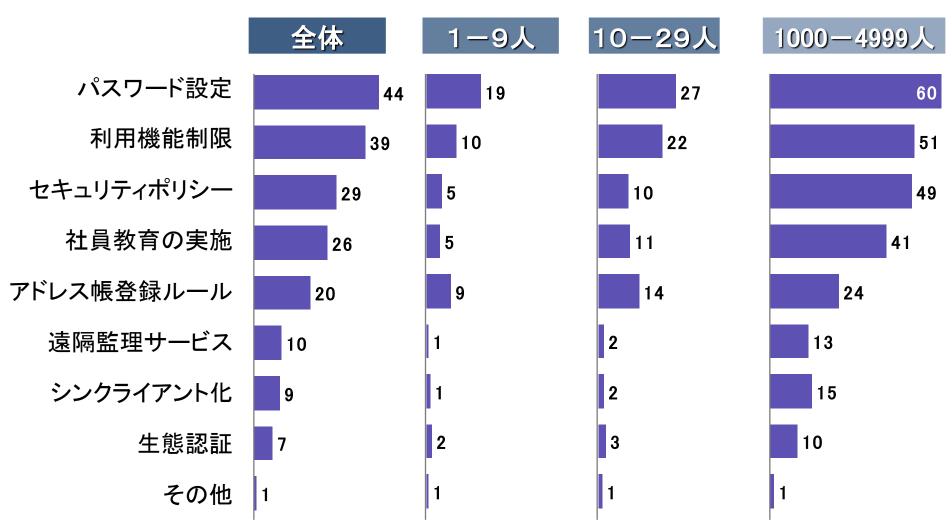
「パスワード設定」「機能制限」が主な対策

(%)



中小企業ではいずれの対策も実施率が低い

(%)





■ スマートフォン出荷台数予測

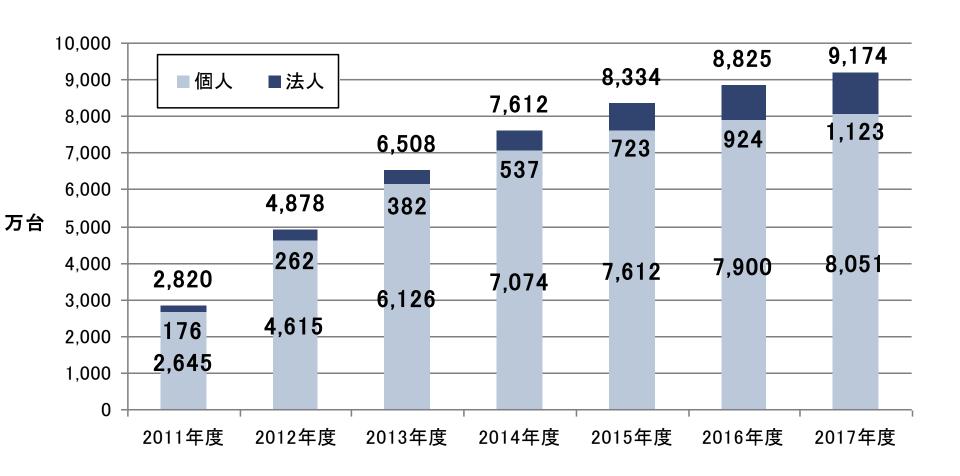
2012年度は2,754万台



出所:MCPC

■ スマートフォン契約数予測

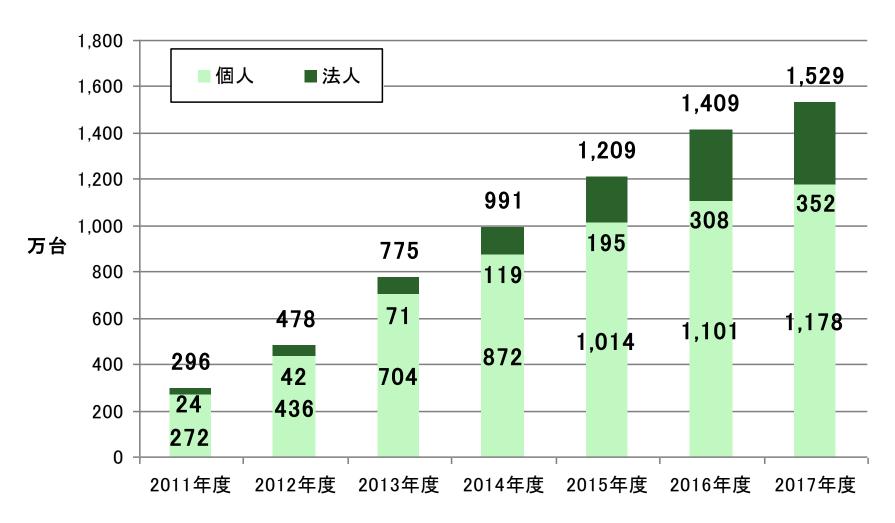
2017年度に9,174万契約へ



出所:MCPC

タブレット販売台数予測

2012年度は478万台



出所:MCPC



ご清聴ありがとうございました。